



世界遺産ブロンバナンの寺院

世界遺産ボロブドゥール

インドネシアの見どころはバリ島以外にも数多く点在する。その中で注目したいのがジャワ島。首都ジャカルタがあるばかりでなく、バリ島からも国内線でわずか1時間。なかでも世界的な観光スポットとして有名なのが、ジョグジャカルタだ。世界遺産の宗教遺跡ボロブドゥールやブロンバナンを抱え、市街には王宮や博物館などが点在し、ビーチリゾートにはないしっかりと落ち着いた古都の雰囲気。京都と姉妹都市というのも納得できる風情ある魅力を持っている。

06年5月に起きたジャワ地震後、生活レベルでの復興は続くものの、空港



ボロブドゥールは世界最大級の仏教寺院

YOGYAKARTA

注目集まるジョグジャカルタ

や道路、ホテル、観光施設は被災直後から迅速に復旧。王宮、ボロブドゥール、ブロンバナなども従来どおりに一般開放されているので、観光には一切支障はない。



王宮には現スルタン(王)が居住。一部を一般開放する

一流ホテルやリゾートも

ジョグジャカルタを訪れる日本人観光客の多くは、ボロブドゥール観光を目的としたバリ島からの日帰りツアーを選んでいるが、実はジョグジャカルタは知られざる高級リゾート滞在が楽しめるスポットでもある。

世界中のセレブを顧客に持ち、若い女性に人気のアマン・リゾートのひとつ「アマンジラ」はボロブドゥールを

遠くに望む景観を持つ最高級リゾート。また、メラピ山を望むゴルフ&スパリゾート「チャングリガン・ジョグジャ・ヴィラズ&スパ」や「ロザリ・コーヒー・プランテーション」など極上の空間とサービスを整えたラグジュアリーホテルも点在。市内には「ハイアット・リージェンシー・ジョグジャカルタ」といった高級ブランドもあり、ホテルで選ぶジャワ滞在もお勧めだ。



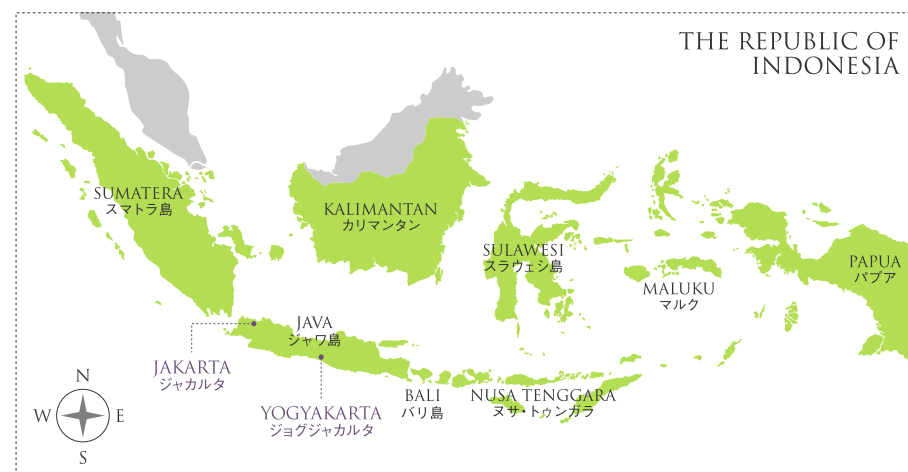
ボロブドゥールを模した建築のハイアット・リージェンシー

お土産にバティックを
最高級品を格安に
ジョグジャカルタは手描きバティックの産地として知られる。市街には工房があり、見学と共に一流の製品を購入することが可能。日本で買うよりも格段に安く最高級品が手に入る。また、黄金のマユで作られた小物など姉妹都市・京都を思わせる工芸芸術に触れられるのが魅力だ。



写真提供:日本アセアンセンター

世界最大の島嶼国家 インドネシア



インドネシアへはガルーダ・インドネシア航空で

日本からバリ島をはじめインドネシアへ行く際の、重要なアクセスとなるのがガルーダ・インドネシア航空(GA)。人気リゾート、バリ島への直行便を運航すると同時に、ジャカルタ、ジョグジャカルタなどインドネシアの主要都市間の国内路線も充実。

GAは07年から、フリークエント・フライヤー・プログラム(FFP)「ガルーダ・フリークエント・フライヤー(GFF)」を日本市場にも導入し、リピーターの獲得に向けてプロモーションを強化している。年内にも日本語版のパンフレットと小冊子を作成する予定。



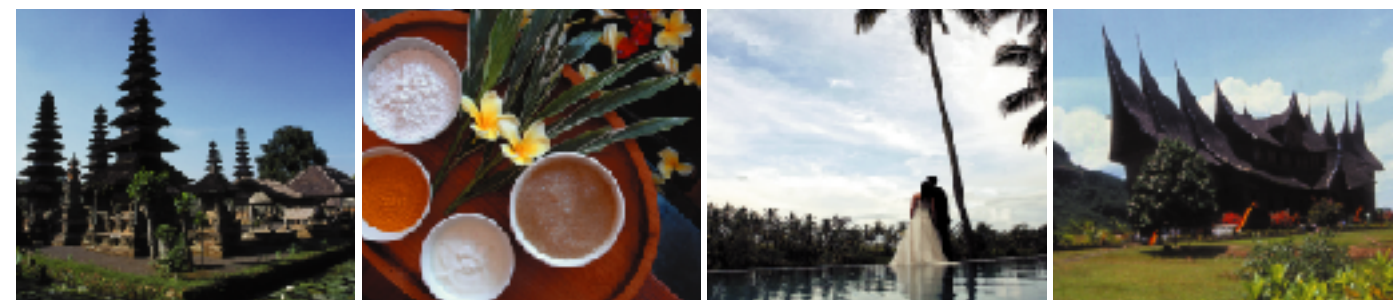
インドネシアの 知られざる多様性を求めて

“好奇心”という言葉は、インドネシアを訪れる観光客にこそふさわしい。赤道直下、1万7000以上の島々から成り立つインドネシアは人口約2億3800万人、500近い民族が暮らす世界最大規模の多民族国家。言葉、文化、そして人生観とさまざまなライフスタイルが訪れる人を魅了し、さらに肥沃で奥深い大自然、野生の世界が圧倒的なスケールと美しさをもって出迎える。そんなインドネシアがモットーとするのが、「多様性の中の統一」。マルチカルチュラルななか、インドネシアというひとつの国としての自負

と誇りを持ちつつ、その魅力を世界中の観光客にアピールしている。

インドネシアという最大級の観光スポットであるバリ島が有名だが、国の多様性は驚くほどに幅広い。また、バリ島も全国的な健康ブームを背景に、近年よりヘルスコンシャスなリゾートが増え、さらにハネムーンマーケットにはロマンチックなアジアリゾート・ウェディングのデスティネーションとしても人気が高い。

ゴージャスな極上リゾートステイから、知的好奇心をかき立てるアドベンチャーな体験まで。バリ島のみならず、その他のエリアについても、いつ行っても新鮮で驚きに満ちているのがインドネシアである。



MINISTRY OF CULTURE AND TOURISM
REPUBLIC OF INDONESIA
DIRECTORATE GENERAL OF MARKETING
インドネシア共和国文化観光省